

平成27年3月期 第1四半期決算短信〔米国基準〕(連結)

平成26年7月25日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社NTTドコモ

コード番号 9437 URL <https://www.nttdocomo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 加藤 薫

問合せ先責任者 (役職名) 総務部株式担当部長

(氏名) 大月 庫二

TEL 03-5156-1111

四半期報告書提出予定日 平成26年7月31日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

|             | 営業収益      |      | 営業利益    |       | 税引前四半期純利益 |       | 当社株主に帰属する四半期純利益 |       |
|-------------|-----------|------|---------|-------|-----------|-------|-----------------|-------|
|             | 百万円       | %    | 百万円     | %     | 百万円       | %     | 百万円             | %     |
| 27年3月期第1四半期 | 1,075,302 | △3.4 | 209,640 | △15.3 | 212,474   | △15.8 | 136,381         | △13.7 |
| 26年3月期第1四半期 | 1,113,573 | 3.9  | 247,470 | △5.8  | 252,484   | △4.7  | 158,009         | △3.8  |

(注) 当社株主に帰属する四半期包括利益 27年3月期第1四半期 133,714百万円(△27.8%) 26年3月期第1四半期 185,232百万円(0.5%)

|             | 基本的1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益 | 希薄化後1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益 |
|-------------|-------------------------|--------------------------|
|             | 円 銭                     | 円 銭                      |
| 27年3月期第1四半期 | 32.89                   | —                        |
| 26年3月期第1四半期 | 38.10                   | —                        |

(注) 当社は、平成25年10月1日を効力発生日として1株につき100株の割合で株式分割を行っています。そのため、基本的1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益については、前連結会計年度期首に当該株式分割が行われたと仮定し算出しています。

(2) 連結財政状態

|             | 総資産       | 資本合計(純資産) | 株主資本      | 株主資本比率 | 1株当たり株主資本 |
|-------------|-----------|-----------|-----------|--------|-----------|
|             | 百万円       | 百万円       | 百万円       | %      | 円 銭       |
| 27年3月期第1四半期 | 7,261,331 | 5,685,736 | 5,652,677 | 77.8   | 1,363.16  |
| 26年3月期      | 7,508,030 | 5,678,644 | 5,643,366 | 75.2   | 1,360.91  |

2. 配当の状況

|            | 年間配当金  |          |        |       |       |
|------------|--------|----------|--------|-------|-------|
|            | 第1四半期末 | 第2四半期末   | 第3四半期末 | 期末    | 合計    |
|            | 円 銭    | 円 銭      | 円 銭    | 円 銭   | 円 銭   |
| 26年3月期     | —      | 3,000.00 | —      | 30.00 | —     |
| 27年3月期     | —      | —        | —      | —     | —     |
| 27年3月期(予想) | —      | 30.00    | —      | 30.00 | 60.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は、平成25年10月1日を効力発生日として1株につき100株の割合で株式分割を行っています。なお、平成26年3月期の第2四半期末の配当金については、当該株式分割が行われる前の金額を記載しています。

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

|           | 営業収益      |     | 営業利益    |      | 税引前当期純利益 |      | 当社株主に帰属する当期純利益 |     | 基本的1株当たり当社株主に帰属する当期純利益 |
|-----------|-----------|-----|---------|------|----------|------|----------------|-----|------------------------|
|           | 百万円       | %   | 百万円     | %    | 百万円      | %    | 百万円            | %   |                        |
| 第2四半期(累計) | —         | —   | —       | —    | —        | —    | —              | —   | 円 銭                    |
| 通期        | 4,590,000 | 2.9 | 750,000 | △8.4 | 758,000  | △9.0 | 480,000        | 3.3 | 120.40                 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

|          |                 |        |                 |
|----------|-----------------|--------|-----------------|
| 27年3月期1Q | 4,365,000,000 株 | 26年3月期 | 4,365,000,000 株 |
|----------|-----------------|--------|-----------------|

② 期末自己株式数

|          |               |        |               |
|----------|---------------|--------|---------------|
| 27年3月期1Q | 218,239,900 株 | 26年3月期 | 218,239,900 株 |
|----------|---------------|--------|---------------|

③ 期中平均株式数(四半期累計)

|          |                 |          |                 |
|----------|-----------------|----------|-----------------|
| 27年3月期1Q | 4,146,760,100 株 | 26年3月期1Q | 4,146,760,100 株 |
|----------|-----------------|----------|-----------------|

当社は、平成25年10月1日を効力発生日として1株につき100株の割合で株式分割を行っています。そのため、発行済株式数(普通株式)については、前連結会計年度期首に当該株式分割が行われたと仮定し記載しています。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 13頁「1. (3) 連結業績予想に関する定性的情報」及び25頁「5. 予想の前提条件その他の関連する事項」をご覧ください。

(自己株式の取得枠設定に係る決議について)

平成27年3月期通期業績予想の基本的1株あたり当社株主に帰属する当期純利益は、平成26年4月25日開催の取締役会で決議した取得株数:3億2,000万株(上限)、取得総額:5,000億円(上限)の自己株式を取得する前提の数値です。

## 添付資料の目次

|                                    | 頁     |
|------------------------------------|-------|
| 添付資料の目次 .....                      | 1     |
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....           | 2～13  |
| (1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....          | 2～11  |
| (2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....          | 12    |
| (3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....          | 13    |
| 2. その他の情報 .....                    | 14    |
| (1) 重要な子会社の異動の概要 .....             | 14    |
| (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 .....      | 14    |
| (3) 会計方針の変更 .....                  | 14    |
| 3. 四半期連結財務諸表 .....                 | 15～21 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 .....               | 15～16 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 ..... | 17～18 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....        | 19    |
| (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....        | 20～21 |
| 4. 参考資料 .....                      | 22～24 |
| (1) 2015年3月期 第1四半期 事業データ .....     | 22    |
| (2) ARPU・MOUの定義及び算定方法等 .....       | 23    |
| (3) 財務指標(連結)の調整表 .....             | 24    |
| 5. 予想の前提条件その他の関連する事項 .....         | 25    |

# 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

### ① 業績の概況

移动通信市場において、当社グループは、携帯電話の番号ポータビリティの活性化による通信事業者との厳しい競争に加え、通信事業者の枠を超えた、インターネット上で様々なサービスを提供する事業者とも新たな競争を展開しています。

この新たな競争ステージの中で、当社グループは、中期的な成長戦略である「中期ビジョン2015～スマートライフの実現に向けて～」を掲げています。

当連結会計年度においても、より多くのお客さまにドコモをお選びいただけるよう、「デバイス(端末)」、「ネットワーク」、「サービス」、「料金・チャネル」の4つの総合力の一層の強化を通じ、新たな成長軌道の確立に挑戦しています。

当第1四半期連結累計期間においては、お客さま一人ひとりのライフステージに合わせて、ドコモを長くおトクにお使いいただける新料金プラン「カケホーダイ&パケあえる」の提供を開始しました。また、Xiサービス(LTE<sup>\*1</sup>サービス)のネットワーク上で、高音質で安定した通話が可能となる通話サービス「VoLTE」<sup>\*\*2</sup>の提供を開始しました。

さらに、経営基盤の強化に向け、2014年7月にはグループを再編し、スペシャリスト集団、地域密着体制によるお客さまサービスの更なる向上に取り組むとともに、強化領域(スマートライフ・法人)へのリソースシフトを進めています。

当社グループは、お客さまや家族の生活、社会がより「幸せ」になるような取り組みを推し進め、選ばれ、使い続けていただける「スマートライフのパートナー」をめざしてまいります。

当第1四半期連結累計期間の業績については、音声収入の減少や「月々サポート」の影響などによりモバイル通信サービス収入が前年同期に比べて492億円減少したことにより、383億円減の1兆753億円となりました。なお、その他の営業収入はdマーケットをはじめとした各種サービス収入等の拡大により、前年同期に比べて164億円増加しました。

営業費用は、その他の営業収入に関連する費用が増加したものの、構造改革によるコスト削減や携帯電話販売数の減に伴う販売関連経費の減少などにより前年同期並みの8,657億円となり、これらの結果、営業利益は前年同期に比べ378億円減の2,096億円となりました。

また、法人税等及び持分法による投資損益前利益2,125億円から税金等を控除した当社に帰属する四半期純利益は前年同期に比べ216億円減の1,364億円となりました。

※1 Long Term Evolutionの略。標準化団体3GPP(3rd Generation Partnership Project)で仕様が作成された移动通信方式。

※2 Voice over LTEの略。LTEの高速データ通信ネットワーク上で音声通話を実現する技術。

当第1四半期連結累計期間における主な経営成績は、次のとおりです。

### 損益状況

(単位：億円)

| 区分                           | 2014年3月期<br>第1四半期<br>連結累計期間<br>(2013年4月1日から<br>2013年6月30日まで) | 2015年3月期<br>第1四半期<br>連結累計期間<br>(2014年4月1日から<br>2014年6月30日まで) | 増減       | 増減率<br>(%) |
|------------------------------|--|--|----------|------------|
| 営業収益                         | 11,136   | 10,753   | △383     | △3.4       |
| 営業費用                         | 8,661  | 8,657  | △4       | △0.1       |
| 営業利益                         | 2,475  | 2,096  | △378     | △15.3      |
| 営業外損益(△費用)                   | 50   | 28   | △22      | △43.5      |
| 法人税等及び持分法による<br>投資損益(△損失)前利益 | 2,525  | 2,125  | △400     | △15.8      |
| 法人税等                         | 961  | 735  | △226     | △23.5      |
| 持分法による投資損益<br>(△損失)前利益       | 1,563  | 1,390  | △174     | △11.1      |
| 持分法による投資損益(△損失)              | 3  | △36  | △39      | —          |
| 四半期純利益                       | 1,566  | 1,354  | △212     | △13.6      |
| 控除：非支配持分に帰属する<br>四半期純損益(△利益) | 14   | 10   | △4       | △28.2      |
| 当社に帰属する四半期純利益                | 1,580  | 1,364  | △216     | △13.7      |
| EBITDAマージン(*)                | 37.8%  | 36.0%  | △1.8ポイント | —          |
| ROCE(税引前)(*)                 | 4.4%   | 3.6%   | △0.8ポイント | —          |
| ROCE(税引後)(*)                 | 2.7%   | 2.3%   | △0.4ポイント | —          |

(\*) 算出過程については、24頁の「4. (3) 財務指標(連結)の調整表」をご参照ください。

### 営業収益

(単位：億円)

| 区分         | 2014年3月期<br>第1四半期<br>連結累計期間 | 2015年3月期<br>第1四半期<br>連結累計期間 | 増減   | 増減率<br>(%) |
|------------|-----------------------------|-----------------------------|------|------------|
| モバイル通信サービス | 7,499                       | 7,007                       | △492 | △6.6       |
| 音声収入       | 2,749                       | 2,293                       | △456 | △16.6      |
| パケット通信収入   | 4,749                       | 4,713                       | △36  | △0.8       |
| 端末機器販売     | 2,125                       | 2,070                       | △55  | △2.6       |
| その他の営業収入   | 1,512                       | 1,677                       | 164  | 10.9       |
| 合計         | 11,136                      | 10,753                      | △383 | △3.4       |

(注) モバイル通信サービスの音声収入には回線交換によるデータ通信を含んでいます。

## 営業費用

(単位：億円)

| 区分      | 2014年3月期<br>第1四半期<br>連結累計期間 | 2015年3月期<br>第1四半期<br>連結累計期間 | 増減  | 増減率<br>(%) |
|---------|-----------------------------|-----------------------------|-----|------------|
| 人件費     | 720                         | 712                         | △7  | △1.0       |
| 経費      | 5,503                       | 5,464                       | △39 | △0.7       |
| 減価償却費   | 1,666                       | 1,672                       | 5   | 0.3        |
| 固定資産除却費 | 141                         | 162                         | 21  | 14.8       |
| 通信設備使用料 | 531                         | 543                         | 12  | 2.2        |
| 租税公課    | 100                         | 104                         | 4   | 3.7        |
| 合計      | 8,661                       | 8,657                       | △4  | △0.1       |

## ARPU・MOU

(単位：円)

| 区分        | 2014年3月期<br>第1四半期<br>連結累計期間 | 2015年3月期<br>第1四半期<br>連結累計期間 | 増減   | 増減率<br>(%) |
|-----------|-----------------------------|-----------------------------|------|------------|
| 総合ARPU(*) | 4,610                       | 4,300                       | △310 | △6.7       |
| 音声ARPU    | 1,470                       | 1,210                       | △260 | △17.7      |
| パケットARPU  | 2,680                       | 2,580                       | △100 | △3.7       |
| スマートARPU  | 460                         | 510                         | 50   | 10.9       |
| MOU(*)    | 109分                        | 99分                         | △10分 | △9.2       |

(\*) 定義及び算定方法等については、23頁の「4.(2) ARPU・MOUの定義及び算定方法等」をご参照ください。

## ② セグメント別の業績

当第1四半期連結会計期間より、当社グループは、新たな成長軌道の確立に向け、より一層の競争力強化に努めるモバイル通信領域と、スマートライフの実現により更なる収益拡大をめざす新領域との経営管理の明確化を目的とし、報告セグメントを変更しました。

詳細については、20頁の「3. (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご参照ください。

## 【モバイル通信事業】

## 業績

(単位：億円)

| 区分                | 2014年3月期<br>第1四半期<br>連結累計期間 | 2015年3月期<br>第1四半期<br>連結累計期間 | 増減   | 増減率<br>(%) |
|-------------------|-----------------------------|-----------------------------|------|------------|
| モバイル通信事業営業収益      | 9,614                       | 9,052                       | △562 | △5.8       |
| モバイル通信事業営業利益(△損失) | 2,434                       | 2,031                       | △403 | △16.6      |

当第1四半期連結会計期間末の携帯電話契約数は前年同期末と比較し、194万契約増の6,357万契約となり、当第1四半期連結累計期間の解約率は0.67%となりました。

モバイル通信事業営業収益は、「月々サポート」の影響等によりモバイル通信サービス収入が減少し、前年同期に比べ562億円減の9,052億円となりました。

また、モバイル通信事業営業費用は携帯電話販売数の減に伴う販売関連経費の減少等により前年同期に比べ159億円減の7,020億円となり、これらの結果、モバイル通信事業営業利益は前年同期に比べ403億円減の2,031億円となりました。

## 《主なトピックス》

## 〈デバイス(端末)〉

スマートフォン基盤の拡大と複数端末の利用促進に向け、新機能を持つスマートフォンに加え、ドコモケータイやドコモ タブレットなど、端末ラインナップの充実に努めました。

- 2014夏モデルとして、「VoLTE」での通話機能や非常用節電機能などを持つドコモならではのAndroidスマートフォンをはじめ、ドコモ ケータイやドコモ タブレットなど12機種の提供を発表しました。
- iPad Air<sup>®</sup>およびiPad mini Retinaディスプレイモデル<sup>®</sup>の販売を開始しました。
- スマートフォンケース、オーディオ機器、映像関連機器など、ドコモがおすすめするアイテムを取り揃えた携帯電話アクセサリの新ブランド「docomo select」の提供を開始しました。

〈ネットワーク〉

ドコモの技術力を活かし、「広さ」、「速さ」、「快適さ」を追求した強力なネットワーク構築に努めるとともに、LTEを活用した新しい通話サービスの提供に取り組みました。

- Xiサービスのエリア拡大に向け、全国のXiサービス基地局数(2014年度末目標：95,300局)を当第1四半期連結会計期間末において、66,300局まで拡大しました。
- Xiサービスの高速化の更なる推進に向け、受信時最大速度100Mbps以上に対応した基地局数(2014年度末目標：40,000局)を当第1四半期連結会計期間末において、10,900局まで拡大しました。
- Xiサービスのネットワーク上で、高音質で安定した通話が可能となる通話サービス「VoLTE」の提供を開始しました。

〈料金・チャネル〉

お客様のライフステージに合わせて、ドコモのスマートフォンやドコモ ケータイなどを長くおトクにお使いいただけるよう、新料金プラン「カケホーダイ&パケあえる」の提供を開始しました。

当第1四半期連結会計期間末における「カケホーダイ&パケあえる」の契約数は、約470万契約となりました。

新料金プランの概要

|         |   |
|---------|---|
| ずっとドコモ割 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ドコモを長くご利用いただいている方におトクな割引サービス</li> <li>・ご利用年数の長さに応じて、データ通信料を割引</li> </ul>  |
| U25応援割  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学生のみならず、25歳以下の方全員を応援する割引サービス</li> <li>・ご利用料金から毎月500円を割引</li> <li>・1GBのボーナスパケットをプレゼント</li> </ul>   |
| カケホーダイ  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ドコモ同士はもちろん、他社ケータイ、固定電話にも何回でも・何分でも国内通話がカケホーダイ</li> </ul>   |
| パケあえる   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ご家族でもひとりでも、複数端末でパケットを分け合える</li> <li>・お使いいただくパケット量に合わせてプランを選んでいただき、ご家族みんなで分け合うことでムダなくおトクにお使いいただける</li> <li>・たくさん使うときも、必要な分だけ追加でパケットを購入できる</li> </ul> |

これらの取り組みの結果、当第1四半期連結累計期間におけるスマートフォンの販売台数は306万台となりました。また、当第1四半期連結会計期間末におけるXiサービスは2,404万契約となりました。

※ TM and (c) 2014 Apple Inc. All rights reserved. iPad、Retinaは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。



主なサービスの契約数等の状況については、次のとおりです。

### 主なサービスの契約数

(単位：千契約)

| 区分         | 2014年3月期<br>第1四半期<br>連結会計期間末 | 2015年3月期<br>第1四半期<br>連結会計期間末 | 増減     | 増減率<br>(%) |
|------------|------------------------------|------------------------------|--------|------------|
| 携帯電話サービス   | 61,623                       | 63,566                       | 1,943  | 3.2        |
| Xiサービス     | 14,198                       | 24,043                       | 9,845  | 69.3       |
| FOMAサービス   | 47,425                       | 39,523                       | △7,902 | △16.7      |
| パケット定額サービス | 39,057                       | 40,164                       | 1,107  | 2.8        |
| spモード      | 19,921                       | 24,685                       | 4,764  | 23.9       |
| iモード       | 30,689                       | 25,362                       | △5,328 | △17.4      |

- (注) 1 携帯電話サービス契約数及びFOMAサービス契約数には、通信モジュールサービス契約数を含めて記載しています。  
 2 2008年3月3日より、「2in1」を利用する際にはその前提として原則FOMA契約を締結することが条件となっており、携帯電話サービス契約数及びFOMAサービス契約数にはその場合の当該FOMA契約も含まれています。  
 3 パケット定額サービス契約数には、「カケホーダイ&パケあえる」における「シェアオプション」契約数を含めて記載しています。

### 販売数等

(単位：千台)

| 区分      | 2014年3月期<br>第1四半期<br>連結累計期間 | 2015年3月期<br>第1四半期<br>連結累計期間 | 増減        | 増減率<br>(%) |       |
|---------|-----------------------------|-----------------------------|-----------|------------|-------|
| 携帯電話販売数 | 5,393                       | 5,156                       | △237      | △4.4       |       |
| Xi      | 新規                          | 860                         | 1,160     | 300        | 34.9  |
|         | 契約変更                        | 2,021                       | 1,388     | △634       | △31.3 |
|         | 機種変更                        | 396                         | 1,026     | 630        | 159.1 |
| FOMA    | 新規                          | 815                         | 577       | △238       | △29.2 |
|         | 契約変更                        | 16                          | 31        | 16         | 99.8  |
|         | 機種変更                        | 1,284                       | 973       | △311       | △24.2 |
| 解約率     | 0.86%                       | 0.67%                       | △0.19ポイント | —          |       |

- (注) 新規：新規の回線契約  
 契約変更：FOMAからXiへの変更及びXiからFOMAへの変更  
 機種変更：XiからXiへの変更及びFOMAからFOMAへの変更

## 【スマートライフ事業】

スマートライフ事業には、動画配信サービス、音楽配信サービス及び電子書籍サービスなどのdマーケットを通じたサービス、並びに、金融・決済サービス、ショッピングサービス及び生活関連サービスなどが含まれます。

## 業績

(単位：億円)

| 区分                 | 2014年3月期<br>第1四半期<br>連結累計期間 | 2015年3月期<br>第1四半期<br>連結累計期間 | 増減  | 増減率<br>(%) |
|--------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----|------------|
| スマートライフ事業営業収益      | 852                         | 996                         | 144 | 16.9       |
| スマートライフ事業営業利益(△損失) | 53                          | 66                          | 13  | 25.0       |

当第1四半期連結累計期間におけるスマートライフ事業営業収益は、dマーケットのストア充実による利用者の拡大、おすすめバック契約者数の増加などにより前年同期に比べ144億円増の996億円、スマートライフ事業営業費用は前年同期に比べ131億円増の931億円となり、スマートライフ事業営業利益は66億円となりました。

## 《主なトピックス》

## 〈デバイス(端末)〉

充実したスマートライフの実現に向け、新機能などを追加したウェアラブル端末の提供に努めました。

- ドコモ・ヘルスケア株式会社において、リストバンド型のウェアラブル端末をより快適にお使いいただけるよう、機器を軽量化するとともに、睡眠の状態から目を覚ましやすいタイミングで本体が振動するアラーム機能等を新たに追加した「ムーヴバンド2」の提供を開始しました。

## 〈サービス〉

dマーケットの各ストアにおける魅力的なコンテンツの充実に取り組むとともに、様々な生活の場面で役立つ新たなストアの提供や、「docomo ID」によるサービスのキャリアフリー化の拡大に努めました。

- スマートフォン等から注文ができ、「しゃべってコンシェル」への音声入力によるメニュー検索や、ドコモポイントの利用が可能な、出前・フード宅配サービス「dデリバリー」の提供を開始しました。
- スマートフォンやタブレットを使って、多彩なジャンルの人気雑誌や記事が読み放題となる「dマガジン」の提供を開始しました。

これらの取り組みの結果、dマーケット契約数<sup>※</sup>は当第1四半期連結会計期間末において、早期1,000万契約達成の目標に対し、746万契約となりました。

※ 「dビデオ」、「dヒッツ」、「dアニメストア」、「dキッズ」、「dマガジン」の合計契約数。

## 【その他の事業】

## 業績

(単位：億円)

| 区分              | 2014年3月期<br>第1四半期<br>連結累計期間 | 2015年3月期<br>第1四半期<br>連結累計期間 | 増減 | 増減率<br>(%) |
|-----------------|-----------------------------|-----------------------------|----|------------|
| その他の事業営業収益      | 728                         | 772                         | 44 | 6.1        |
| その他の事業営業利益(△損失) | △12                         | △1                          | 12 | 93.4       |

当第1四半期連結累計期間におけるその他の事業営業収益は、ケータイ補償サービスの収入増加等により前年同期に比べ44億円増の772億円、その他の事業営業費用は前年同期に比べ32億円増の773億円となり、その他の事業営業損失は1億円となりました。

## 《主なトピックス》

- 日本国内で販売される電気自動車「モデルS」に法人向けM2M<sup>※1</sup>回線管理システム「docomo M2Mプラットフォーム」およびデータ通信回線を提供する契約をTesla Motors社<sup>※2</sup>と締結しました。
- グローバル企業への法人営業を強化するため、Vodafone社<sup>※3</sup>とM2Mに関する事業提携について基本合意しました。

※ 1 Machine-to-Machineの略。通信機能を搭載した車両、自動販売機、情報家電などがサーバ等の機器と自動的に通信するシステム

※ 2 Tesla Motors, Inc.

※ 3 Vodafone Group Plc

### ③ CSRの取り組み

当社グループは、「中期ビジョン2015」のもと、高い品質のネットワークやサービスの安定的な提供と、「スマートライフのパートナー」として新たな価値の絶え間ない創造に努めています。

これらの事業活動を通じて、社会の様々な問題を解決し、国や地域、世代を超えて、人々がより安心・安全かつ快適で豊かに暮らすことができる社会の実現に貢献することが当社グループの社会的責任(CSR)であると考え、CSRを経営の根幹に位置付けています。

当第1四半期連結累計期間における主な取り組みは、次のとおりです。

- 環境を意識した経営の中期的な目標となる、「NTTドコモグループ 地球環境対策 2016年度目標」を設定し、ネットワークや販売における環境負荷の軽減に向けた具体的数値(データ通信量あたりの消費電力を1/4に削減、販促ツールの作成重量を40%以上節約)を定めました。
- 携帯電話におけるマナーやトラブルへの対処方法を啓発する「ケータイ安全教室」を当第1四半期連結累計期間において約1,900回実施し、39万人に受講いただきました。

## ④ 設備投資の状況

## 設備投資額

(単位：億円)

| 区分        | 2014年3月期<br>第1四半期<br>連結累計期間 | 2015年3月期<br>第1四半期<br>連結累計期間 | 増減  | 増減率<br>(%) |
|-----------|-----------------------------|-----------------------------|-----|------------|
| 設備投資合計    | 1,454                       | 1,485                       | 31  | 2.1        |
| モバイル通信事業  | 1,394                       | 1,450                       | 56  | 4.0        |
| スマートライフ事業 | 33                          | 19                          | △14 | △42.0      |
| その他の事業    | 27                          | 16                          | △11 | △39.6      |

設備投資の効率化、低コスト化に努める一方、Xiサービスエリアの充実及び増加するデータトラフィックに対応した設備増強を推し進めました。その結果、当第1四半期連結累計期間の設備投資額合計は前年同期に比べ2.1%増の1,485億円となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## ① 財政状態

(単位：億円)

| 区分        | 2014年3月期<br>第1四半期<br>連結会計期間末 | 2015年3月期<br>第1四半期<br>連結会計期間末 | 増減      | 増減率<br>(%) | (参考)<br>2014年<br>3月期末 |
|-----------|------------------------------|------------------------------|---------|------------|-----------------------|
| 総資産       | 70,947                       | 72,613                       | 1,667   | 2.3        | 75,080                |
| 株主資本      | 54,293                       | 56,527                       | 2,234   | 4.1        | 56,434                |
| 負債        | 16,249                       | 15,606                       | △642    | △4.0       | 18,145                |
| うち有利子負債   | 2,464                        | 2,305                        | △159    | △6.4       | 2,303                 |
| 株主資本比率    | 76.5%                        | 77.8%                        | 1.3ポイント | —          | 75.2%                 |
| D/Eレシオ(倍) | 0.045                        | 0.041                        | △0.004  | —          | 0.041                 |

(注) 株主資本比率:株主資本÷総資産  
D/Eレシオ:有利子負債÷株主資本

## ② キャッシュ・フローの状況

(単位：億円)

| 区分                                | 2014年3月期<br>第1四半期<br>連結累計期間 | 2015年3月期<br>第1四半期<br>連結累計期間 | 増減   | 増減率<br>(%) |
|-----------------------------------|-----------------------------|-----------------------------|------|------------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー                  | 2,416                       | 1,965                       | △451 | △18.7      |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー                  | △2,074                      | △2,358                      | △284 | △13.7      |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー                  | △1,357                      | △1,280                      | 77   | 5.7        |
| フリー・キャッシュ・フロー                     | 342                         | △394                        | △735 | —          |
| フリー・キャッシュ・フロー<br>(資金運用に伴う増減除く)(*) | 168                         | △241                        | △408 | —          |

(注)フリー・キャッシュ・フロー:営業活動によるキャッシュ・フロー+投資活動によるキャッシュ・フロー  
資金運用に伴う増減:期間3ヵ月超の資金運用を目的とした金融商品の取得、償還及び売却による増減

(\*) 算出過程については、24頁の「4. (3) 財務指標(連結)の調整表」をご参照ください。

当第1四半期連結累計期間における「営業活動によるキャッシュ・フロー」は、1,965億円の収入となりました。前年同期に比べ451億円(18.7%)キャッシュ・フローが減少していますが、これは、モバイル通信サービス収入等が減少したことに加え、法人税等の支払額が増加したことや、お客さまによる携帯端末代金の分割払いに伴う立替代金の支払いが増加したことなどによるものです。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は、2,358億円の支出となりました。前年同期に比べ284億円(13.7%)支出が増加していますが、これは、当期の資金運用に伴う短期投資による支出が増加したことに加え、短期投資の償還による収入が減少したことなどによるものです。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は、1,280億円の支出となりました。前年同期に比べ77億円(5.7%)支出が減少していますが、これは、長期借入債務および短期借入金の返済による支出が減少したことに加え、短期借入金の増加による収入が増加したことなどによるものです。

これらの結果、当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は3,587億円となり、前連結会計年度末と比較して1,683億円(31.9%)減少しました。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

移動通信市場は、お客さまの獲得やサービスの更なる向上などにおいて、厳しい競争環境が続くと想定される中、新料金プランの導入を中心に競争力向上に向けた各種取組みを行っていきます。そのような状況の中で、スマートフォン顧客基盤の拡大によるパケット収入の増加や新領域での収入の拡大などを見込んでいるものの、音声収入の減少及びXiの品質強化の取組みによる費用の増加等により、2015年3月期の連結業績は増収減益を見込んでいます。

営業収益については、音声収入の減少や月々サポートの影響などによるモバイル通信サービス収入の低減はあるものの、Xiスマートフォンへの移行勧奨などを行うことによるパケット収入の増加、スマートフォン販売強化による端末機器販売収入の増加、dマーケット等その他の営業収入の増加を見込み、前期に比べ1,288億円増の4兆5,900億円を見込んでいます。営業費用については、コスト効率化の取組みを推進するものの、Xiの品質強化に向けた基地局の増加の取組みや、将来の収益拡大に向けた取組み及び販売数の増加に伴う端末機器原価の増加により、1,980億円増の3兆8,400億円を見込んでいます。その結果、営業利益は前期に比べ692億円減の7,500億円を見込んでいます。

なお、現時点においては、業績の見通しに重大な影響を与える要因が想定されないため、2015年4月25日に発表した業績予想は変更していません。

## 2. その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更

該当事項はありません。



## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| 区 分                    | 前連結会計年度末<br>(2014年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間末<br>(2014年6月30日) |
|------------------------|--------------------------|-------------------------------|
|                        | 金 額                      | 金 額                           |
| ( 資 産 )                |                          |                               |
| 流 動 資 産                |                          |                               |
| 現金及び現金同等物              | 526,920                  | 358,662                       |
| 短期投資                   | 19,561                   | 34,765                        |
| 売上債権                   | 281,509                  | 200,863                       |
| 売却目的債権                 | 787,459                  | 789,078                       |
| クレジット未収債権              | 220,979                  | 223,375                       |
| 未収入金                   | 315,962                  | 317,687                       |
| 貸倒引当金                  | △ 15,078                 | △ 11,934                      |
| 棚卸資産                   | 232,126                  | 239,241                       |
| 繰延税金資産                 | 61,592                   | 53,337                        |
| 前払費用及び<br>その他の流動資産     | 95,732                   | 110,103                       |
| 流動資産合計                 | 2,526,762                | 2,315,177                     |
| 有形固定資産                 |                          |                               |
| 無線通信設備                 | 4,975,826                | 4,991,289                     |
| 建物及び構築物                | 897,759                  | 898,841                       |
| 工具、器具及び備品              | 553,497                  | 548,111                       |
| 土地                     | 201,121                  | 200,945                       |
| 建設仮勘定                  | 158,173                  | 161,487                       |
| 減価償却累計額                | △ 4,228,610              | △ 4,255,938                   |
| 有形固定資産合計(純額)           | 2,557,766                | 2,544,735                     |
| 投資その他の資産               |                          |                               |
| 関連会社投資                 | 424,531                  | 409,941                       |
| 市場性のある有価証券<br>及びその他の投資 | 171,875                  | 178,252                       |
| 無形固定資産(純額)             | 665,960                  | 645,414                       |
| 営業権                    | 262,462                  | 261,021                       |
| その他の資産                 | 629,174                  | 636,203                       |
| 繰延税金資産                 | 269,500                  | 270,588                       |
| 投資その他の資産合計             | 2,423,502                | 2,401,419                     |
| 資 産 合 計                | 7,508,030                | 7,261,331                     |

(単位：百万円)

| 区 分               | 前連結会計年度末<br>(2014年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間末<br>(2014年6月30日) |
|-------------------|--------------------------|-------------------------------|
|                   | 金 額                      | 金 額                           |
| (負債・資本)           |                          |                               |
| 流 動 負 債           |                          |                               |
| 1 年 以 内 返 済 予 定 務 | 248                      | 228                           |
| 長 期 借 入 債         |                          |                               |
| 短 期 借 入 金         | 9,495                    | 9,688                         |
| 仕 入 債 務           | 798,315                  | 661,153                       |
| 未 払 人 件 費         | 54,294                   | 41,770                        |
| 未 払 法 人 税 等       | 175,683                  | 61,730                        |
| そ の 他 の 流 動 負 債   | 167,951                  | 177,746                       |
| 流 動 負 債 合 計       | 1,205,986                | 952,315                       |
| 固 定 負 債           |                          |                               |
| 長 期 借 入 債 務       | 220,603                  | 220,570                       |
| ポイントプログラム引当金      | 113,001                  | 99,650                        |
| 退 職 給 付 に 係 る 負 債 | 160,666                  | 161,842                       |
| そ の 他 の 固 定 負 債   | 114,261                  | 126,258                       |
| 固 定 負 債 合 計       | 608,531                  | 608,320                       |
| 負 債 合 計           | 1,814,517                | 1,560,635                     |
| 償 還 可 能 非 支 配 持 分 | 14,869                   | 14,960                        |
| 資 本               |                          |                               |
| 株 主 資 本           |                          |                               |
| 資 本 金             | 949,680                  | 949,680                       |
| 資 本 剰 余 金         | 732,875                  | 732,875                       |
| 利 益 剰 余 金         | 4,328,389                | 4,340,367                     |
| その他の包括利益(△損失)累積額  | 9,590                    | 6,923                         |
| 自 己 株 式           | △ 377,168                | △ 377,168                     |
| 株 主 資 本 合 計       | 5,643,366                | 5,652,677                     |
| 非 支 配 持 分         | 35,278                   | 33,059                        |
| 資 本 合 計           | 5,678,644                | 5,685,736                     |
| 負 債 ・ 資 本 合 計     | 7,508,030                | 7,261,331                     |

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(第1四半期連結累計期間)

## 四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

| 区 分                          | 前第1四半期連結累計期間<br>〔2013年4月1日から<br>2013年6月30日まで〕 | 当第1四半期連結累計期間<br>〔2014年4月1日から<br>2014年6月30日まで〕 |
|------------------------------|---|---|
|                              | 金 額   | 金 額   |
| 営 業 収 益                      |   |   |
| モバイル通信サービス                   | 749,856                                       | 700,661                                       |
| 端末機器販売                       | 212,481                                       | 206,987                                       |
| その他の営業収入                     | 151,236                                       | 167,654                                       |
| 営業収益合計                       | 1,113,573                                     | 1,075,302                                     |
| 営 業 費 用                      |   |   |
| サービス原価                       | 251,041                                       | 265,587                                       |
| 端末機器原価                       | 177,253                                       | 177,255                                       |
| 減価償却費                        | 166,640                                       | 167,183                                       |
| 販売費及び一般管理費                   | 271,169                                       | 255,637                                       |
| 営業費用合計                       | 866,103                                       | 865,662                                       |
| 営 業 利 益                      | 247,470                                       | 209,640                                       |
| 営業外損益(△費用)                   |   |   |
| 支払利息                         | △ 479   | △ 280   |
| 受取利息                         | 428   | 404   |
| その他(純額)                      | 5,065   | 2,710   |
| 営業外損益(△費用)合計                 | 5,014   | 2,834   |
| 法人税等及び持分法による<br>投資損益(△損失)前利益 | 252,484                                       | 212,474                                       |
| 法 人 税 等                      |   |   |
| 当 年 度 分                      | 79,267  | 63,801  |
| 繰 延 税 額                      | 16,881  | 9,722   |
| 法人税等合計                       | 96,148  | 73,523  |
| 持分法による投資損益(△損失)前利益           | 156,336                                       | 138,951                                       |
| 持分法による投資損益(△損失)              | 298   | △ 3,557                                       |
| 四 半 期 純 利 益                  | 156,634                                       | 135,394                                       |
| 控除：非支配持分に帰属する<br>四半期純損益(△利益) | 1,375   | 987   |
| 当社に帰属する四半期純利益                | 158,009                                       | 136,381                                       |

## 1 株当たり情報

|                                       |               |               |
|---------------------------------------|---------------|---------------|
| 期中加重平均発行済普通株式数<br>－基本的及び希薄化後(単位：株)    | 4,146,760,100 | 4,146,760,100 |
| 基本的及び希薄化後1株当たり<br>当社に帰属する四半期純利益(単位：円) | 38.10         | 32.89         |

## 四半期連結包括利益計算書

(単位：百万円)

| 区 分                               | 前第1四半期連結累計期間<br>〔2013年4月1日から<br>2013年6月30日まで〕 | 当第1四半期連結累計期間<br>〔2014年4月1日から<br>2014年6月30日まで〕 |
|-----------------------------------|---|---|
|                                   | 金 額   | 金 額   |
| 四 半 期 純 利 益                       | 156,634                                       | 135,394                                       |
| その他の包括利益(△損失)                     |   |   |
| 売却可能有価証券<br>未実現保有利益(△損失)          | 11,264  | 3,900   |
| 未実現キャッシュ・フロー・ヘッジ<br>利 益 ( △ 損 失 ) | △ 32  | 27  |
| 為 替 換 算 調 整 額                     | 15,902  | △ 6,678                                       |
| 年 金 債 務 調 整 額                     | 146   | 22  |
| その他の包括利益(△損失)合計                   | 27,280  | △ 2,729                                       |
| 四 半 期 包 括 利 益                     | 183,914                                       | 132,665                                       |
| 控除：非支配持分に帰属する<br>四半期包括損益(△利益)     | 1,318   | 1,049   |
| 当社に帰属する四半期包括利益                    | 185,232                                       | 133,714                                       |

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

| 区 分                           | 前第1四半期連結累計期間                    | 当第1四半期連結累計期間                    |
|-------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|
|                               | 〔 2013年4月1日から<br>2013年6月30日まで 〕 | 〔 2014年4月1日から<br>2014年6月30日まで 〕 |
|                               | 金 額                             | 金 額                             |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー:             |                                 |                                 |
| 四半期純利益                        | 156,634                         | 135,394                         |
| 四半期純利益から営業活動によるキャッシュ・フローへの調整: |                                 |                                 |
| 減価償却費                         | 166,640                         | 167,183                         |
| 繰延税額                          | 16,881                          | 9,722                           |
| 有形固定資産売却・除却損                  | 6,276                           | 9,849                           |
| 持分法による投資損益(△利益)               | △ 298                           | 3,557                           |
| 資産及び負債の増減:                    |                                 |                                 |
| 売上債権の増減額(増加:△)                | 20,165                          | 80,189                          |
| 売却目的債権の増減額(増加:△)              | △ 23,921                        | △ 1,619                         |
| クレジット未収債権の増減額(増加:△)           | △ 4,184                         | △ 1,392                         |
| 未収入金の増減額(増加:△)                | 4,753                           | △ 3,968                         |
| 貸倒引当金の増減額(減少:△)               | △ 2,293                         | △ 2,992                         |
| 棚卸資産の増減額(増加:△)                | △ 2,821                         | △ 7,938                         |
| 前払費用及びその他の流動資産の増減額(増加:△)      | △ 16,530                        | △ 12,087                        |
| 長期売却目的債権の増減額(増加:△)            | △ 5,323                         | △ 4,334                         |
| 仕入債務の増減額(減少:△)                | △ 5,880                         | △ 67,295                        |
| 未払法人税等の増減額(減少:△)              | △ 60,633                        | △ 113,900                       |
| その他の流動負債の増減額(減少:△)            | 21,311                          | 15,533                          |
| ポイントプログラム引当金の増減額(減少:△)        | △ 19,265                        | △ 13,351                        |
| 退職給付に係る負債の増減額(減少:△)           | 2,433                           | 1,184                           |
| その他の固定負債の増減額(減少:△)            | △ 544                           | 10,156                          |
| その他                           | △ 11,824                        | △ 7,426                         |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー              | 241,577                         | 196,465                         |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー:             |                                 |                                 |
| 有形固定資産の取得による支出                | △ 140,377                       | △ 150,785                       |
| 無形固定資産及びその他の資産の取得による支出        | △ 66,462                        | △ 60,336                        |
| 長期投資による支出                     | △ 6,072                         | △ 491                           |
| 長期投資の売却による収入                  | 9                               | 340                             |
| 新規連結子会社の取得による支出(取得現金控除後)      | △ 8,611                         | -                               |
| 短期投資による支出                     | △ 13,754                        | △ 26,982                        |
| 短期投資の償還による収入                  | 31,182                          | 11,699                          |
| その他                           | △ 3,309                         | △ 9,264                         |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー              | △ 207,394                       | △ 235,819                       |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー:             |                                 |                                 |
| 長期借入債務の返済による支出                | △ 4,390                         | △ 53                            |
| 短期借入金の増加による収入                 | 4,934                           | 10,478                          |
| 短期借入金の返済による支出                 | △ 12,984                        | △ 10,245                        |
| キャピタル・リース負債の返済による支出           | △ 560                           | △ 465                           |
| 現金配当金の支払額                     | △ 121,665                       | △ 122,434                       |
| その他                           | △ 1,032                         | △ 5,248                         |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー              | △ 135,697                       | △ 127,967                       |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額              | 1,144                           | △ 937                           |
| 現金及び現金同等物の増減額(減少:△)           | △ 100,370                       | △ 168,258                       |
| 現金及び現金同等物の期首残高                | 493,674                         | 526,920                         |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高              | 393,304                         | 358,662                         |
| キャッシュ・フローに関する補足情報             |                                 |                                 |
| 各四半期連結累計期間の現金受取額:             |                                 |                                 |
| 還付法人税等                        | 10                              | 4                               |
| 各四半期連結累計期間の現金支払額:             |                                 |                                 |
| 支払利息(資産化された利息控除後)             | 933                             | 266                             |
| 法人税等                          | 136,692                         | 175,655                         |

#### (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

##### (継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

##### (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

##### (セグメント情報)

当社グループの最高経営意思決定者は取締役会です。最高経営意思決定者は内部のマネジメントレポートからの情報に基づいて当該事業セグメントの営業成績を評価し、経営資源を配分しています。

当社グループは、新たな成長軌道の確立に向け、より一層の競争力強化に努めるモバイル通信領域と、スマートライフの実現により更なる収益拡大をめざす新領域との経営管理の明確化を目的とし、当第1四半期連結会計期間より、事業セグメントの区分を変更しました。当該変更により、事業セグメントの区分は、従来の携帯電話事業、クレジットサービス事業、通信販売事業、ホテル向けインターネット接続サービス事業及びその他の事業の5つから、モバイル通信事業、スマートライフ事業、その他の事業の3つに変更されています。

モバイル通信事業には、携帯電話サービス(Xiサービス、FOMAサービス)、衛星電話サービス、国際サービス及び各サービスの端末機器販売などが含まれます。

スマートライフ事業には、動画配信サービス、音楽配信サービス及び電子書籍サービス等のdマーケットを通じたサービス、並びに、金融・決済サービス、ショッピングサービス及び生活関連サービスなどが含まれます。

その他の事業には、ケータイ補償サービス、並びに、システムの開発、販売及び保守受託などが含まれます。

これに伴い、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報を当第1四半期連結累計期間のセグメントの区分に基づき作成し、開示しています。

なお、セグメント営業収益及びセグメント営業利益(△損失)の決定に用いられる会計方針は、米国会計基準に準拠した連結財務諸表の作成において用いられる会計方針と一致しています。

## セグメント営業収益：

(単位：百万円)

|            | 前第1四半期連結累計期間<br>2013年4月1日から<br>2013年6月30日まで | 当第1四半期連結累計期間<br>2014年4月1日から<br>2014年6月30日まで |
|------------|---|---|
| モバイル通信事業   |   |   |
| 外部顧客との取引   | 961,048                                     | 904,968                                     |
| セグメント間取引   | 336   | 192   |
| 小計         | 961,384                                     | 905,160                                     |
| スマートライフ事業  |   |   |
| 外部顧客との取引   | 82,410                                      | 96,104                                      |
| セグメント間取引   | 2,839                                       | 3,542                                       |
| 小計         | 85,249                                      | 99,646                                      |
| その他の事業     |   |   |
| 外部顧客との取引   | 70,115                                      | 74,230                                      |
| セグメント間取引   | 2,652                                       | 2,940                                       |
| 小計         | 72,767                                      | 77,170                                      |
| 合計         | 1,119,400                                   | 1,081,976                                   |
| セグメント間取引消去 | △5,827                                      | △6,674                                      |
| 連結         | 1,113,573                                   | 1,075,302                                   |

## セグメント営業利益(△損失)：

(単位：百万円)

|            | 前第1四半期連結累計期間<br>2013年4月1日から<br>2013年6月30日まで | 当第1四半期連結累計期間<br>2014年4月1日から<br>2014年6月30日まで |
|------------|---|---|
| モバイル通信事業   | 243,442                                     | 203,134                                     |
| スマートライフ事業  | 5,270                                       | 6,588                                       |
| その他の事業     | △1,242                                      | △82   |
| 合計         | 247,470                                     | 209,640                                     |
| セグメント間取引消去 | -   | -   |
| 連結         | 247,470                                     | 209,640                                     |

セグメント営業利益(△損失)は、セグメント営業収益からセグメント営業費用を差し引いた金額です。  
海外で発生した営業収益には重要性がないため、所在地別セグメント情報は開示していません。

## 4. 参考資料

## (1) 2015年3月期 第1四半期 事業データ

(年間予想は2014年4月25日発表)

|                   |        | 2014年3月期<br>第1四半期<br>(4~6月)<br>実績 | 2015年3月期<br>第1四半期<br>(4~6月)<br>実績 | 【参考】<br>2014年3月期<br>年間実績 | 【参考】<br>2015年3月期<br>年間予想 |
|-------------------|--------|-----------------------------------|-----------------------------------|--------------------------|--------------------------|
| <b>契約数等</b>       |        |                                   |                                   |                          |                          |
| 携帯電話契約数           | 千契約    | 61,623                            | <b>63,566</b>                     | 63,105                   | 66,800                   |
| Xi                | 千契約    | 14,198                            | <b>24,043</b>                     | 21,965                   | 29,800                   |
| FOMA (1)          | 千契約    | 47,425                            | <b>39,523</b>                     | 41,140                   | 37,000                   |
| (再)通信モジュールサービス    | 千契約    | 3,204                             | <b>3,286</b>                      | 3,338                    | -                        |
| パケット定額サービス契約数 (2) | 千契約    | 39,057                            | <b>40,164</b>                     | 40,148                   | -                        |
| 純増数 (3)           | 千契約    | 87                                | <b>461</b>                        | 1,569                    | 3,700                    |
| Xi                | 千契約    | 2,632                             | <b>2,078</b>                      | 10,399                   | 7,900                    |
| FOMA (1)          | 千契約    | △ 2,545                           | <b>△ 1,617</b>                    | △ 8,830                  | △ 4,200                  |
| s pモード契約数         | 千契約    | 19,921                            | <b>24,685</b>                     | 23,781                   | 28,700                   |
| iモード契約数           | 千契約    | 30,689                            | <b>25,362</b>                     | 26,415                   | 22,700                   |
| 解約率 (3)           | %      | 0.86                              | <b>0.67</b>                       | 0.87                     | -                        |
| 携帯電話販売数 (4)       | 千      | 5,393                             | <b>5,156</b>                      | 22,514                   | -                        |
| <b>ARPU・MOU</b>   |        |                                   |                                   |                          |                          |
| 総合ARPU (5)        | 円/月・契約 | 4,610                             | <b>4,300</b>                      | 4,500                    | 4,390                    |
| 音声ARPU (6)        | 円/月・契約 | 1,470                             | <b>1,210</b>                      | 1,370                    | 1,240                    |
| パケットARPU          | 円/月・契約 | 2,680                             | <b>2,580</b>                      | 2,640                    | 2,620                    |
| スマートARPU          | 円/月・契約 | 460                               | <b>510</b>                        | 490                      | 530                      |
| MOU (7)           | 分/月・契約 | 109                               | <b>99</b>                         | 106                      | -                        |

※ARPU・MOUの定義・算定方法及び稼働契約数の算出方法については、23頁の「4. (2) ARPU・MOUの定義及び算定方法等」をご参照ください。

- (1) 2008年3月3日より、2in1を利用する際にはその前提として原則FOMA契約を締結することが条件となっており、その場合の当該FOMA契約も含む
- (2) パケット定額サービス契約数には、「カケホーダイ&パケあえる」における「シェアオプション」契約数を含む
- (3) 通信モジュールサービス契約数を含めて算出
- (4) 新規の回線契約、FOMAからXiへの契約変更、XiからFOMAへの契約変更、XiからXiへの機種変更、FOMAからFOMAへの機種変更の合計
- (5) 通信モジュールサービス、「電話番号保管」、「メールアドレス保管」及び「ドコモビジネストランシーバー」関連収入及び契約数を含めず算出
- (6) 回線交換によるデータ通信を含む
- (7) 通信モジュールサービス、「電話番号保管」、「メールアドレス保管」及び「ドコモビジネストランシーバー」の契約数を含めず算出



**(2) ARPU・MOUの定義及び算定方法等****① ARPU・MOUの定義**

a. ARPU (Average monthly Revenue Per Unit) : 1契約当たり月間平均収入

1契約当たり月間平均収入(ARPU)は、1契約当たりの各サービスにおける平均的な月間営業収益を計るために使われています。ARPUはモバイル通信サービス及びその他の営業収入の一部を、当該期間の稼働契約数で割って算出されています。こうして得られたARPUは1契約当たりの各月の平均的な利用状況及び当社による料金設定変更の影響を分析する上で有用な情報を提供するものであると考えています。なお、ARPUの分子に含まれる収入は米国会計基準により算定しています。

b. MOU (Minutes of Use) : 1契約当たり月間平均通話時間

**② ARPUの算定式**

総合ARPU : 音声ARPU + パケットARPU + スマートARPU

- ・ 音声ARPU : 音声ARPU関連収入(基本使用料、通話料) ÷ 稼働契約数
- ・ パケットARPU : パケットARPU関連収入(月額定額料、通信料) ÷ 稼働契約数
- ・ スマートARPU : その他の営業収入の一部(コンテンツ関連収入、料金回収代行手数料、端末補償サービス収入、広告収入等) ÷ 稼働契約数

**③ 稼働契約数の算出方法**

当該期間の各月稼働契約数((前月末契約数 + 当月末契約数) ÷ 2)の合計

(注) 通信モジュールサービス、「電話番号保管」、「メールアドレス保管」及び「ドコモビジネスランシーバー」は、ARPU及びMOUの算定上、収入、契約数ともに含めていません。

## (3) 財務指標(連結)の調整表

## 1. EBITDA、EBITDAマージン

|                          | (単位:億円)           |                   |
|--------------------------|-------------------|-------------------|
|                          | 2014年3月期<br>第1四半期 | 2015年3月期<br>第1四半期 |
| <b>a. EBITDA</b>         | 4,204             | 3,867             |
| 減価償却費                    | △ 1,666           | △ 1,672           |
| 有形固定資産売却・除却損             | △ 63              | △ 98              |
| 営業利益                     | 2,475             | 2,096             |
| 営業外損益(△費用)               | 50                | 28                |
| 法人税等                     | △ 961             | △ 735             |
| 持分法による投資損益(△損失)          | 3                 | △ 36              |
| 控除:非支配持分に帰属する四半期純損益(△利益) | 14                | 10                |
| <b>b. 当社に帰属する四半期純利益</b>  | 1,580             | 1,364             |
| <b>c. 営業収益</b>           | 11,136            | 10,753            |
| <b>EBITDAマージン(=a/c)</b>  | 37.8%             | 36.0%             |
| <b>売上高四半期純利益率(=b/c)</b>  | 14.2%             | 12.7%             |

(注)当社が使用しているEBITDA及びEBITDAマージンは、米国証券取引委員会(SEC)レギュレーション S-K Item10(e)で用いられているものとは異なっています。従って、他社が用いる同様の指標とは比較できないことがあります。

## 2. ROCE(税引後)

|                          | (単位:億円)           |                   |
|--------------------------|-------------------|-------------------|
|                          | 2014年3月期<br>第1四半期 | 2015年3月期<br>第1四半期 |
| a. 営業利益                  | 2,475             | 2,096             |
| b. 税引後営業利益 {=a*(1-実効税率)} | 1,532             | 1,346             |
| c. 使用総資本                 | 56,489            | 58,784            |
| ROCE(税引前)(=a/c)          | 4.4%              | 3.6%              |
| <b>ROCE(税引後)(=b/c)</b>   | 2.7%              | 2.3%              |

(注)使用総資本=(前期末株主資本+当第1四半期末株主資本)/2+(前期末有利子負債+当第1四半期末有利子負債)/2

有利子負債=1年以内返済予定長期借入債務+短期借入金+長期借入債務

(2014年3月期第1四半期:実効税率38.1%、2015年3月期第1四半期:実効税率35.8%)

## 3. フリー・キャッシュ・フロー(資金運用に伴う増減除く)

|                                | (単位:億円)           |                   |
|--------------------------------|-------------------|-------------------|
|                                | 2014年3月期<br>第1四半期 | 2015年3月期<br>第1四半期 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー               | 2,416             | 1,965             |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー               | △ 2,074           | △ 2,358           |
| フリー・キャッシュ・フロー                  | 342               | △ 394             |
| 資金運用に伴う増減(*)                   | 174               | △ 153             |
| フリー・キャッシュ・フロー<br>(資金運用に伴う増減除く) | 168               | △ 241             |

(\*) 資金運用に伴う増減とは、期間3ヵ月超の資金運用を目的とした金融商品の取得、償還及び売却による増減です。

## 5. 予想の前提条件その他の関連する事項

本資料に記載されている、将来に関する記述を含む歴史的事実以外のすべての記述は、当社グループが現在入手している情報に基づく、現時点における予測、期待、想定、計画、認識、評価などを基礎として記載されているに過ぎません。また、予想数値を算定するためには、過去に確定し正確に認識された事実以外に、予想を行うために不可欠となる一定の前提(仮定)を用いています。これらの記述ないし事実または前提(仮定)は、客観的には不正確であったり将来実現しない可能性があります。その原因となる潜在的リスクや不確定要因としては以下の事項があり、これらはいずれも当社グループの事業、業績または財政状態に悪影響を及ぼす可能性があります。また、潜在的リスクや不確定要因はこれらに限られるものではありませんのでご注意ください。

1. 携帯電話の番号ポータビリティ、訴求力のある端末の展開、新規事業者の参入、他の事業者間の統合など、通信業界における他の事業者等及び他の技術等との競争の激化や競争レイヤーの広がりをはじめとする市場環境の変化に関連して、当社グループが獲得・維持できる契約数が抑制されたり、当社グループの想定以上にARPUの水準が逡減し続けたり、コストが増大したり、想定していたコスト削減ができない可能性があること
2. 当社グループが提供している、あるいは新たに導入・提案するサービス・利用形態・販売方式が十分に展開できない場合や想定以上に費用が発生してしまう場合、当社グループの財務に影響を与えたり、成長が制約される可能性があること
3. 種々の国内外の法令・規制・制度等の導入や変更または当社グループへの適用等により、当社グループの事業運営に制約が課されるなど悪影響が発生し得ること
4. 当社グループが使用可能な周波数及び設備に対する制約に関連して、サービスの質の維持・増進や、顧客満足の継続的獲得・維持に悪影響が発生したり、コストが増加する可能性があること
5. 当社グループが採用する移動通信システムに関する技術や周波数帯域と互換性のある技術や周波数帯域を他の移動通信事業者が採用し続ける保証がなく、当社グループの国際サービスを十分に提供できない可能性があること
6. 当社グループの国内外の投資、提携及び協力関係や、新たな事業領域への出資等が適正な収益や機会をもたらす保証がないこと
7. 当社グループや他の事業者等の商品やサービスの不具合、欠陥、不完全性等に起因して問題が発生し得ること
8. 当社グループの提供する商品・サービスの不適切な使用等により、当社グループの信頼性・企業イメージに悪影響を与える社会的問題が発生し得ること
9. 当社グループまたは業務委託先等における個人情報を含む業務上の機密情報の不適切な取り扱い等により、当社グループの信頼性・企業イメージの低下等が発生し得ること
10. 当社グループ等が事業遂行上必要とする知的財産権等の権利につき当該権利の保有者よりライセンス等を受けられず、その結果、特定の技術、商品またはサービスの提供ができなくなったり、当社グループが他者の知的財産権等の権利の侵害を理由に損害賠償責任等を負う可能性があること、また、当社グループが保有する知的財産権等の権利が不正に使用され、本来得られるライセンス収入が減少したり、競争上の優位性をもたらすことができない可能性があること
11. 自然災害、電力不足等の社会インフラの麻痺、有害物質の拡散、テロ等の災害・事象・事件、及び機器の不具合等やソフトウェアのバグ、ウイルス、ハッキング、不正なアクセス、サイバー攻撃、機器の設定誤り等の人為的な要因により、当社グループのサービス提供に必要なネットワークや販売網等の事業への障害が発生し、当社グループの信頼性・企業イメージが低下したり、収入が減少したり、コストが増大する可能性があること
12. 無線通信による健康への悪影響に対する懸念が広まることもあり得ること
13. 当社の親会社である日本電信電話株式会社が、当社の他の株主の利益に反する影響力を行使することがあり得ること

(注) 本資料に記載されている会社名、製品名などは該当する各社の商標又は登録商標です。